



より良いがん治療は

製鉄記念病院 管内医師ら研究会

がんの治療法を医師、看護師らが情報共有する症例研究会「地域合同キヤンサーボード」が、室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院で開かれた。

(相沢宏)

北大、札医大、旭医大、道医療大でつくる連携組織「がんプロフェッショナル」が、養成基盤推進ボードの主催。胆振管内の医師、看護師ら80人が参加し、26日夜

管内の医師らが、がんのより良い治療法を探った「地域合同キヤンサーボード」

開かれた。

まず製鉄記念室蘭病院の呼吸器内科の角俊行医長と、消化器内科・血液腫瘍内科の吉田正宏医長が、再発したがんや、がんが進行した時の治療例などについて解説。引き続き北大大学院の木下一郎准教授が、がんの最先端治療について紹介。参加者は熱心にメモを取っていた。